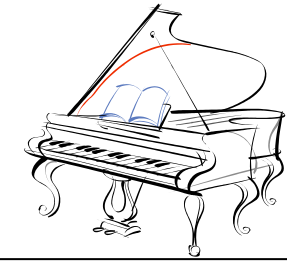




ビーミーの丘学校便り

三田市立ゆりのき台小学校
令和2年11月16日発行



令和2年度 アートフェスティバル IN ゆりのき (音楽の部)

1年生

ポディパーカッション 「くるみ割り人形」より トレパーク
鍵盤ハーモニカ奏 ぶんぶんぶんによる
「みつばちハニーのぼうけん」
合奏 聖者の行進

1年生は、心を一つに「スマイル」で演奏します。

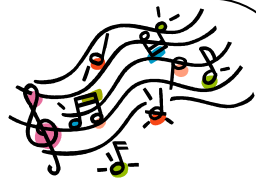
1曲目の「トレパーク」は、チャイコフスキーの名曲に合わせて、ポディパーカッションに挑戦します。手拍子、ひざ打ち、足踏みを使って、軽快なテンポに乗って楽しめます。

2曲目の「みつばちハニーのぼうけん」は、「ぶんぶんぶん」の変奏曲です。みつばちのハニーが花畑を探しに冒険の旅へ出かけいきます。元気よく出発する様子や花畑がなかなか見つからず疲れている様子、きれいな花畑を見つけて喜んでいる様子を想像しながら演奏します。

3曲目の合奏「聖者の行進」は、明るく、元気な1年生のイメージにぴったりの華やかな曲です。どの楽器も大切なパートの一つであることを意識して、自分の音や友達の音を聞きながら指揮に合わせて演奏できるように頑張ります。

4年生

リコーダー奏 上を向いて歩こう
合奏 風になりたい



「上を向いて歩こう」は新型コロナで緊急事態宣言中、いろんな所で、いろんな方々がこの曲をリモートでつないで大合唱されていました。♪上を向いて歩こう～涙がこぼれないように…♪坂本九さんが歌ったこの曲は世代や国を越えて、勇気を与えてくれます。リコーダー奏では、1学期に学んだ高いミの音をきれいに吹けるように、また2つのパートに分かれて合わせるので、周りの音を聴きながらリコーダーの優しい響きで吹くことをめざします。

合奏曲「風になりたい」は「島唄」で知られるTHE BOOMの代表作です。高揚感あふれるサンバのリズムとゆったりとした心地よいメロディが特徴です。子どもたちもサンバのリズムののって、みんなで一つの音楽をつくりあげていくことを毎回楽しんで練習しており、「合わせようよ」そんな言葉が自然と子どもたちから聞こえてきます。観客の皆さんと共に盛り上げたい曲です。

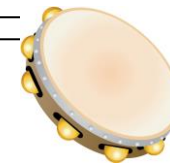
各学年の曲目とわらい

～かんじよう とどけよう 音と心のハーモニー～

今年度は歌唱の発表はできませんが、楽器の音で自分たちの思いを届けようと練習を積み重ねてきました。ここには各学年の学年に応じた学習のねらいや選曲に込められた指導者のねがいを集めています。どうぞ、子どもたちの演奏をお楽しみください。

2年生

鍵盤ハーモニカ奏 山の音楽家
クラップ・ソング・ファンタジー クラップ・ソング・ファンタジー - 第7番「楽しいマーチ」
合奏 南の島のハメハメハ大王



今年度は鍵盤ハーモニカの2重奏にチャレンジします。

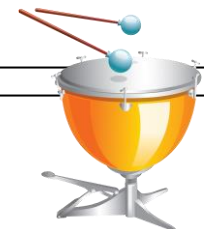
主旋律と副旋律を交代でどちらも演奏します。夏休みから練習を始め、2学期になってからは、旋律のかけあいを聴きながら吹く練習をしてきました。

「クラッピング・ファンタジー第7番 楽しいマーチ」は、鍵盤ハーモニカと手拍子のリズムカルな曲です。手拍子の音と同時に手の動きもそろうように気をつけました。手拍子の余韻を感じ2つのパートに別れ、かけ合いの楽しさを感じながら練習を重ねてきました。

合奏「南の島のハメハメハ大王」は、軽快なリズムに合わせて、たくさん楽器の音がひとつになるよう、みんなの息を合わせて演奏し、楽しい曲に仕上げられるように頑張ります。

5年生

リコーダー奏 ルパン三世のテーマ
合奏 八木節



リコーダー奏は、皆がよく知る「ルパン三世のテーマ」です。高音や派生音（#やbの音）を使いこなせるように、夏休み前から取り組みました。途中で転調するのでいくつもの派生音が出てくるので覚えるのが大変です。数人で吹く部分と全体で盛り上げる部分のメリハリをつけるように工夫しました。カッコいいリズムののって演奏しながらも、リコーダーの柔らかな音色と美しい響きを崩さないように気をつけて演奏したいと思います。

合奏「八木節」は、栃木・群馬県の民謡です。たる太鼓、締太鼓や宮太鼓、あたりがねなどの和楽器が和の色合いを強めています。打楽器と木琴の歯切れのいいリズムののって、鍵盤ハーモニカやアコーディオンが中心となって歌声に変わる主旋律を奏でます。旋律の動きが激しいので演奏するのが難しく、合わせるのに苦労しました。明るくにぎやかな八木節をお楽しみください♪

3年生

リコーダー奏 地平線
ブラック・ホール
合奏 くまのおどり

3年生は、はじめてのリコーダーで「地平線」と「ブラック・ホール」の2曲にチャレンジします。夏休み前から、指の押さえ方やタンギングなどを繰り返し練習してきました。「地平線」はゆったりと壮大な感じの曲なので、リコーダーの音色を味わってほしいです。「ブラック・ホール」は、勢いのある曲で、リズムにのってしっかりとタンギングして演奏します。子ども達も大好きな曲ですので一緒にリズムにのり楽しんでお聴きください。

合奏「くまのおどり」では、演奏の速さを変えることで大きな熊がまるでゆっくりと踊っているように表現したり、小さな熊が楽しそうにリズムにのって踊っている様子を表現したりしています。音にも強弱をつけて、曲想の変化を楽しめるように工夫しています。また、いろいろな楽器が登場しますので、音色の違いもお楽しみください。



6年生

リコーダー奏 ひこうき雲 / 糸
合奏 ミッション・インポッシブル / リベルタンゴ

「ひこうき雲」は、1973年に発売された荒井由美さん（ユーミンこと松任谷由美）のファーストアルバム曲です。その40年後、2013年にスタジオジブリ宮崎駿監督の長編映画『風立ちぬ』の主題歌となったことで今も広く知られるようになりました。タイトル通り、晴れ渡る穏やかな空と風を感じてもらえるように演奏します。

「糸」は、中島みゆきさんが1998年に発表した歌をモチーフにこの夏、映画化されたことで、子どもたちもよく耳にした曲です。メロディを聴くだけで人生ドラマが浮かんでくるようです。

2曲とも、途中でソロパートがあり、数人によるリコーダーの響きや全員で奏でるリコーダーのハーモニーを味わってください。

6年生の合奏では、一人ひとりが曲想に合った強弱等の表現を創っていくことをねらうため、あえてリコーダーは使用せず、幅広い表現が可能な鍵盤ハーモニカを主要楽器としています。6年生の合奏ともなると、たくさんのパートに分かれています。それぞれのパートがどんな役割を担っているかを考えながら曲を仕上げてください。

「ミッション・インポッシブル」は、トム・クルーズ演じる映画のテーマ曲、「リベルタンゴ」はアストル・ピアソラ作曲のバンドネオンで演奏されるタンゴの楽曲です。どちらの曲も特徴的なリズムが根底に流れており、そのリズムを感じながら演奏することを意識しました。小学校生活最後の音楽会！音を合わせることの楽しさを感じながら演奏したいと思います。